

# ちがう植物を受粉させてみよう

都立久我山青光学園

5年 早川 隆人

## 1. 研究のどうき

理科で受粉のことを勉強したので、やってみたくなつたからです。ウリ科にはお花とめ花ができると理科で勉強したので、夏に花がさくウリ科の野さいを調べたらきゅうりとゴーヤだったのでその2つを使って研究をしてみることにしました。この研究をするのに、社会で勉強した稲の品種改良もヒントにしました。

## 2. よそう

きゅうりとゴーヤが合体して、「きゅうゴー」(あたらしい植物)になると思いました。きゅうりのめ花にゴーヤのお花<sup>ばな</sup>をつけるからきゅうりがもとになると思いました。シャキシャキ感はあるけれど少しにがい野さいができる<sup>ばな</sup>とよそうしました。

## 3. 研究の方法

### (1) よういするもの

ハチ2こ、きゅうりのなえ1こ、ゴーヤのなえ1こ、しちゅう2しゅるい、ふで1本

### (2) 方法

- ①きゅうりのなえとゴーヤのなえをそれぞれハチに入れてそだてます。
- ②め花<sup>ばな</sup>ができたらネットをつけます。
- ③め花<sup>ばな</sup>にお花<sup>ばな</sup>をつけ、受粉させます。このとき、め花がきゅうりだったらゴーヤのお花<sup>ばな</sup>、め花がゴーヤだったらきゅうりのお花<sup>ばな</sup>をつけます。

## 4. 結果

- ① ゴーヤのお花<sup>ばな</sup>がさきました。きゅうりのめ花<sup>ばな</sup>がさきそうになったのでネットをつけたらかれてしまいました。



② ネットをつけなくてもいいように、きゅうりのお花<sup>ばな</sup>ができたなら受粉しないように全部とりました。

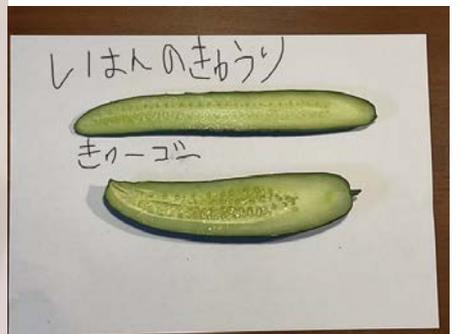
③ きゅうりのめ花がさいたので、ゴーヤのお花<sup>ばな</sup>の花粉をふでできゅうりのめ花につけました。



④ 実が大きく育ち、しゅうかくしました。よそうしていた「きゅうゴー」とちがっていたけれど、ふつうのきゅうりとは見た目がかなりちがっていた。だから、お花<sup>ばな</sup>の花粉によってあたらしい植物ができることがわかった。

<観察したこと> しはんのキュウリとのひかく

形、長さ、太さ、におい(なんとなくみずみずしい)、種の形と大きさ、味(きゅうりの青くさが少ない。みずみずしさはきゅうりより少ない。でも大きくは変わらない。)



## 5. まとめ

今度はゴーヤのめ花のつぼみがあるので、ゴーヤのめ花にきゅうりのお花<sup>ばな</sup>を受粉させてどんな実がなるのか研究を続けたいと思う。